

# タイガー グラスロック 耐力壁

内壁用【厚さ12.5mm】

地震・台風に強い不燃耐力壁



■専用ビス“PS4032W”種類別による仕様

## PS4032W ノンクロム・ビス

工法	仕様	壁倍率	壁高さ対応	認定番号
軸組	1. 軸組標準仕様	<b>3.1</b>	1,945~3,075mm (内法寸法)	FRM-0332
	2. 床板差込(床勝ち)仕様	<b>3.2</b>	1,960~3,075mm (内法寸法)	FRM-0331
枠組	3. 枠組標準仕様	<b>2.3</b>	2,450~2,750mm	TBFC-0085

## PS4032W ゴウキン・ビス

工法	仕様	壁倍率	壁高さ対応	認定番号
軸組	1. 軸組標準仕様	<b>2.9</b>	2,400~2,700mm (内法寸法)	FRM-0079
	2. 床板差込(床勝ち)仕様	<b>2.6</b>	2,420~2,730mm (内法寸法)	FRM-0106
	3. 壁上下すき間仕様	<b>2.0</b>	2,420~2,730mm (内法寸法)	FRM-0105
枠組	4. 枠組標準仕様	<b>2.5</b>	2,450~2,750mm	TBFC-9008



**YOSHINO**  
安全で快適な住空間を創る 吉野石膏

# 「タイガーガラスロック」を用いた新しいタイプの耐力壁です。

様々な用途に対応できる仕様を揃えました。

## 特長

- 強靱性……高い耐力性能で地震・台風の揺れから建物を守ります。
- 不燃性……室内側からの火災から建物を守ります。
- 環境対応……100%リサイクルが可能です。

ホルムアルデヒド吸収・分解性能も付加できます。(受注生産品)

## News

指定スクリーブス PS4032W 「ゴウキン」に加え、

新たに“ノンクロム”での仕様が揃いました。

「ノンクロム・ビス」にすることで、“スムーズな打ち込みやすさ”、  
“木造軸組で壁高さの適用範囲の拡大”を実現!

## タイガーガラスロックの性状

タイガーガラスロック(12.5mm厚)はボード用原紙を使用しないガラス繊維補強せっこう板で、通常のせっこうボードに比べ、格段の強靱性があるので、優れた耐力面材として機能します。

厚	さ	12.5mm	
寸法	幅	910、1,000mm (1,000mm品は受注生産。ご採用の際は、必ず事前にご確認ください。)	
	長さ	1,820、2,420、2,730mm	
比	重	1.1±0.11	
重	量	13.75±1.37kg/m <sup>2</sup>	
含	水	率	3%以下
不燃材料認定番号		NM-9354 (防火材料名称:ガラス繊維不織布入せっこう板)	

## 省令準耐火構造

平成21年11月に12.5mm厚のタイガーガラスロックで省令準耐火構造の承認を取得しております。外壁の内壁や間仕切壁として大きな耐力性能と組み合わせて使用できます。

**注意** 「省令準耐火構造」は、住宅金融支援機構の融資等に特有の構造で、建築基準法に定める準耐火構造とは異なりますので、ご注意ください。

室内に面する壁に「タイガーガラスロック」を用いた省令準耐火構造の住宅

(「住機C発第66号(技支)」;承認番号527-1)

専用ビスPS4032W「ゴウキン」の場合のみ

## 軸組標準仕様

**ノンクロム・ビス**

■ 耐力性能 壁倍率 **3.1**

■ 認定番号 FRM-0332

**ゴウキン・ビス**

■ 耐力性能 壁倍率 **2.9**

■ 認定番号 FRM-0079

### ■ 特長・用途

**ノンクロム・ビス** 内壁用不燃面材の軸組壁の中で壁倍率3.1を実現。

**ゴウキン・ビス** 内壁用不燃面材の軸組壁の中で壁倍率2.9を実現。

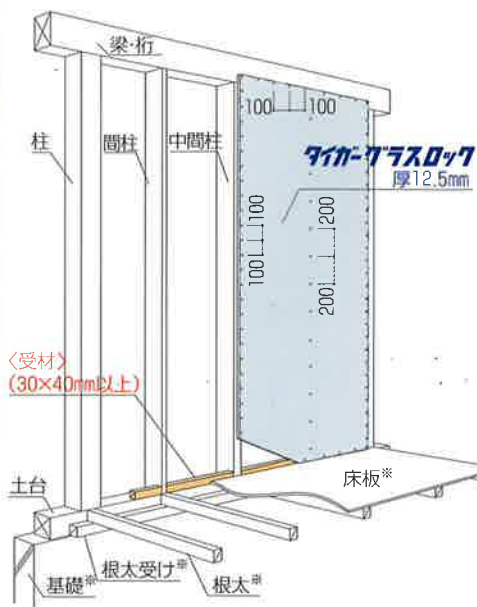
### ■ 施工上の要点

**ノンクロム・ビス**

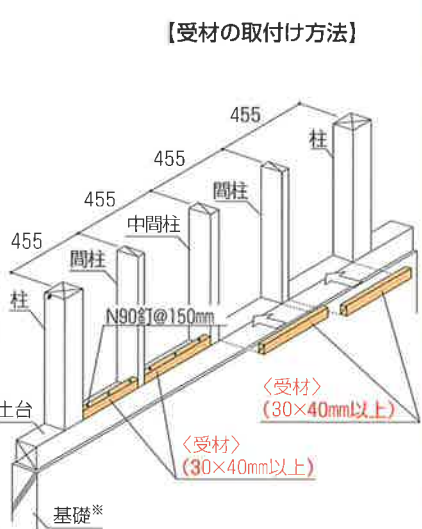
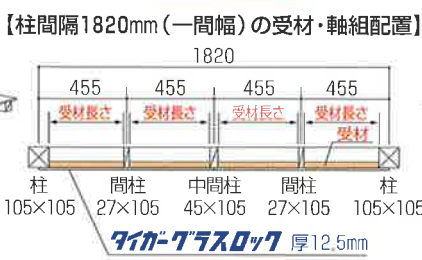
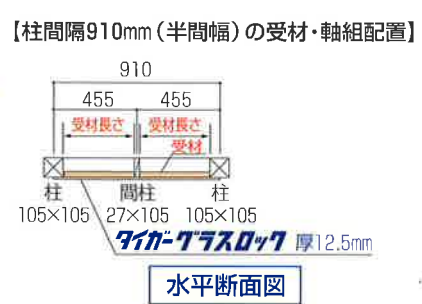
**ゴウキン・ビス**

- 指定スクリーブスおよびビスの留め付け間隔、留め付け位置の厳守。  
(詳細のうら表紙の『認定上の厳守事項』をご確認ください)
- 受材はN90釘を使用し、指定間隔で土台または梁に直接取付。

### ノンクロム・ゴウキン／共通項

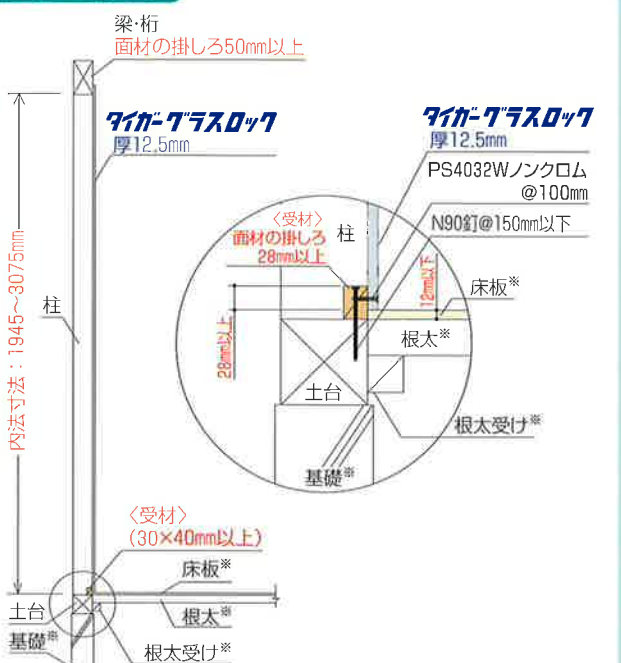


透視図

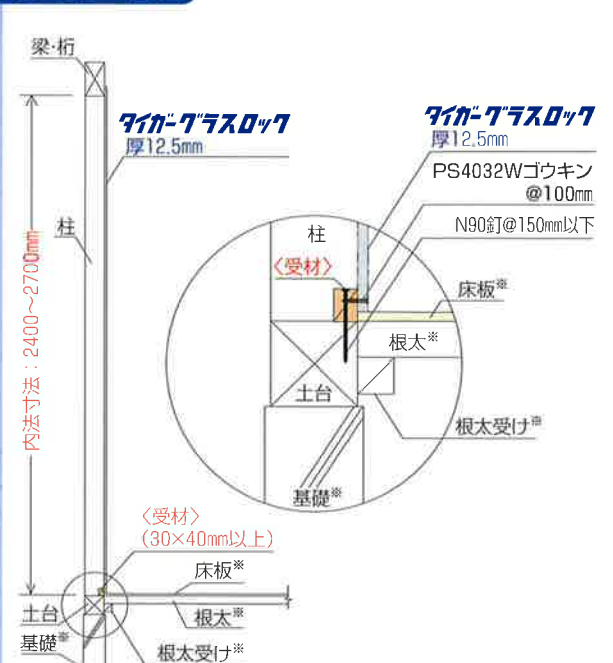


軸組下部透視図

### ノンクロム・ビス



### ゴウキン・ビス



● 柱、間柱、中間柱の間隔は500mm以内。タイガーガラスロックは1000mm幅(受注生産)も対応可能です。  
● タイガーガラスロックを壁高さ方向で継ぐ場合、見付け幅45mm、奥行き60mm以上の胴つなぎを設ける。尚、面材をつなぐ場合の下側の面材長さは1820mmとし、上側面材との継手部分に胴つなぎを設け、取付位置は横架材間の一箇所とする。詳細は「標準施工指導書」をご覧ください。

※床板・根太・根太受け・基礎は認定条件対象外です。

# 木造軸組工法〈2〉

## 床板差込（床勝ち）仕様

### ノンクロム・ビス

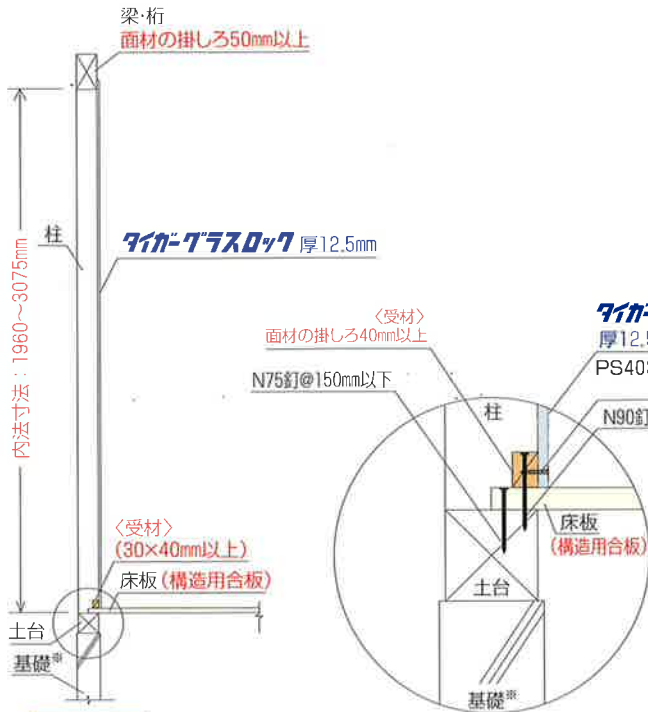
■ 耐力性能 壁倍率 **3.2** ■ 認定番号 FRM-0331

■ 特長・用途 **ノンクロム・ビス** 板厚28mm以下の構造用合板の床勝ち施工に対応。

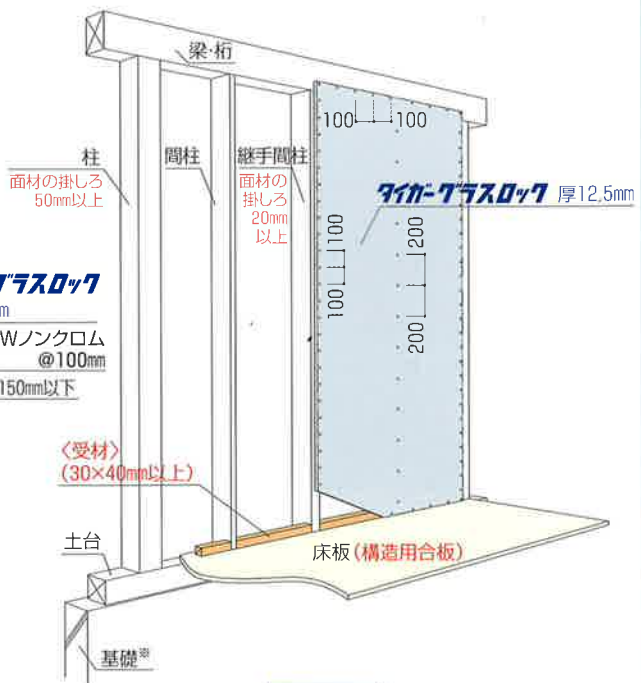
■ 施工上の要点 **ノンクロム・ビス**

- 指定スクリービスおよびビスの留め付け間隔、留め付け位置の厳守。（詳細はうら表紙の『認定上の厳守事項』をご確認ください）
- 受材はN90釘を使用し、指定間隔で土台または梁・桁に直接取付。

### ノンクロム・ビス

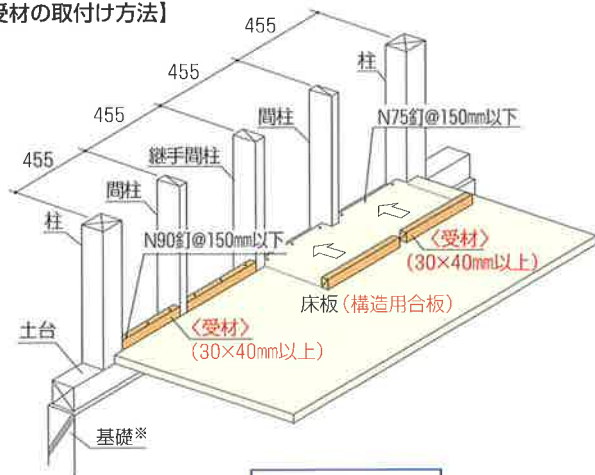


縦断面図



透視図

### 【受材の取付け方法】



軸組下部透視図

### 【柱間隔1820mm（一間幅）の受材・軸組配置】



水平断面図

「継手間柱（つぎてまばしら）」とは、面材を継ぐ間柱であり、「中間柱（なかまばしら）」とも呼ばれます。

※基礎は認定条件対象外です。

● 柱、間柱、中間柱の間隔は500mm以内。タイガーガラスロックは1000mm幅（受注生産）も対応可能です。  
● タイガーガラスロックを壁高さ方向で継ぐ場合、見付け幅45mm、奥行き60mm以上の駒つなぎを設ける。尚、面材をつなぐ場合の下側の面材長さは1820mmとし、上側面材との継手部分に駒つなぎを設け、取付位置は横架材間の一箇所とする。詳細は「標準施工指図書」をご覧ください。

## 床板差込(床勝ち)仕様

ゴウキン・ビス

■ 耐力性能 壁倍率 **2.6** ■ 認定番号 FRM-0106

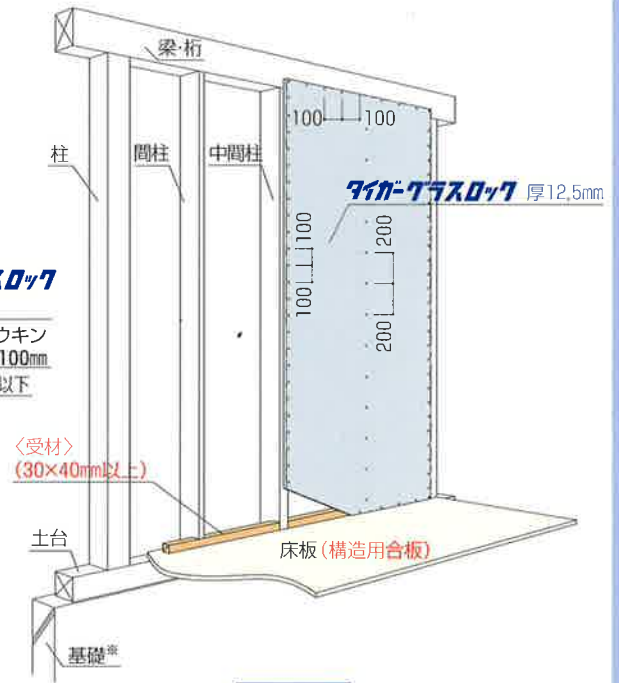
■ 特長・用途 **ゴウキン・ビス** 板厚28mm以下の構造用合板の床勝ち施工に対応。

- 施工上の要点 **ゴウキン・ビス**
- 指定スクリービスおよびビスの留め付け間隔、留め付け位置の厳守。  
(詳細はうら表紙の『認定上の厳守事項』をご確認ください)
  - **受材**はN90釘を使用し、指定間隔で床板の上から土台または梁・桁に直接取付。

### ゴウキン・ビス



縦断面図



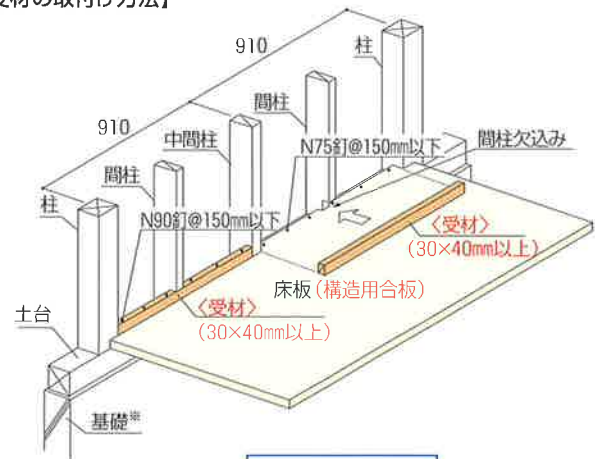
透視図

### 【受材の取付け方法】

#### 【柱間隔1820mm(一間幅)の受材・軸組配置】



水平断面図



軸組下部透視図

※基礎は認定条件対象外です。

● 柱、間柱、中間柱の間隔は500mm以内。タイガーガラスロックは1000mm幅(受注生産)も対応可能です。  
● タイガーガラスロックを壁高さ方向で継ぐ場合、見付け幅45mm、奥行き60mm以上の胴つなぎを設ける。尚、面材をつなぐ場合の下側の面材長さは1820mmとし、上側面材との継手部分に胴つなぎを設け、取付位置は横架材間の一箇所とする。詳細は「標準施工指導書」をご覧ください。

# 木造軸組工法〈3〉

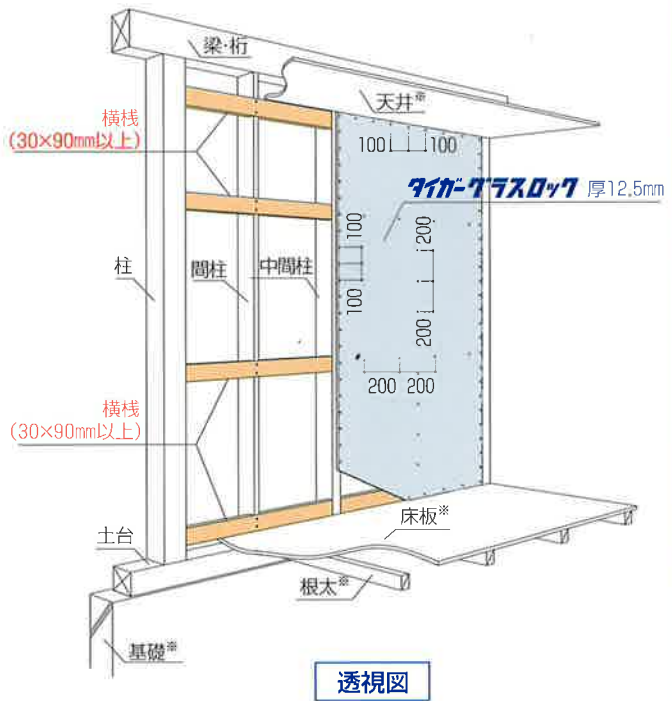
## 壁上下すき間仕様

### ゴウキン・ビス

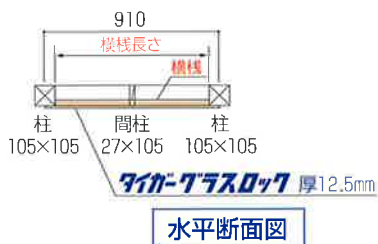
■ 耐力性能 壁倍率 **2.0** ■ 認定番号 FRM-0105

- 特長・用途 **ゴウキン・ビス** 耐力壁の上下にすき間を設けることができ、換気ダクト、ガス管、電線などを自由に通すことができるので、様々なニーズに対応可能です。
- 施工上の要点 **ゴウキン・ビス**
  - 指定スクルービスおよびビスの留め付け間隔、留め付け位置の厳守。（詳細はうら表紙の『認定上の厳守事項』をご確認ください）
  - 横棧はN75釘で柱、間柱、中間柱（なかまばしら）に取付。

### ゴウキン・ビス



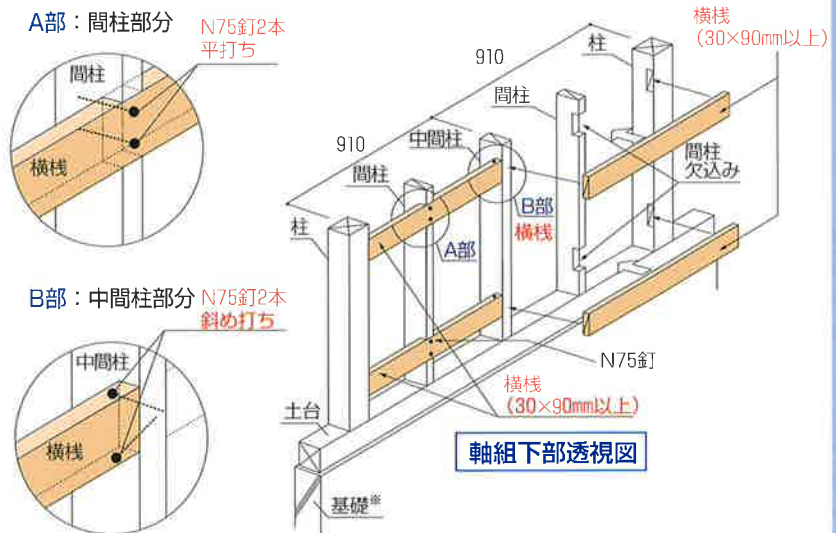
【柱間隔910mm（半間幅）の横棧・軸組配置】



【柱間隔1820mm（一間幅）の横棧・軸組配置】



【横棧の取付け方法】



※床板・根太・基礎・天井は認定条件対象外です。

● 柱、間柱、中間柱の間隔は500mm以内。タイガーガラスロックは1000mm幅（受注生産）も対応可能です。  
● タイガーガラスロックを壁高さ方向で継ぐ場合は、受材に直張りとする。尚、面材をつなぐ場合の下側の面材長さは1820mmを用い、壁高さ方向の一箇所とする。詳細は「標準施工指図書」をご覧ください。

## 枠組標準仕様

ノンクロム・ビス

■ 耐力性能

壁倍率 **2.3**

■ 認定番号

TBFC-0085

ゴウキン・ビス

■ 耐力性能

壁倍率 **2.5**

■ 認定番号

TBFC-9008

### ■ 特長・用途

ノンクロム・ビス

内壁用不燃面材で壁倍率2.3を実現。

ゴウキン・ビス

内壁用不燃面材で壁倍率2.5を実現。

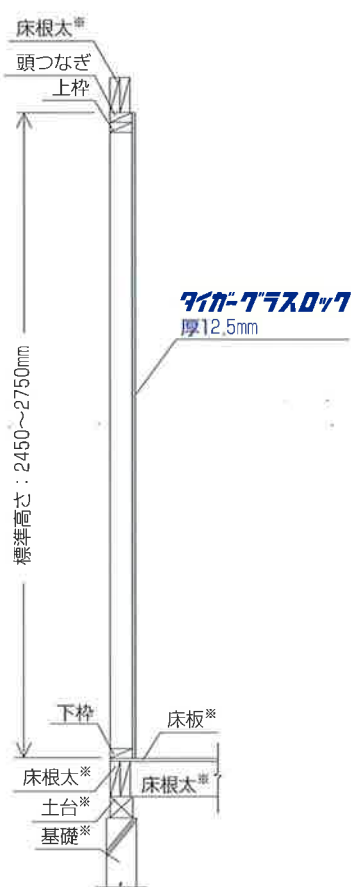
### ■ 施工上の要点

ノンクロム・ビス

ゴウキン・ビス

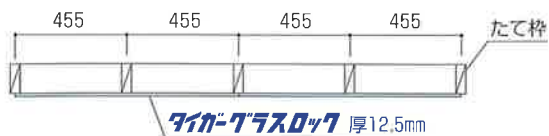
共に ● 指定スクリービスおよびビスの留め付け間隔、留め付け位置の厳守。  
(詳細はうら表紙の『認定上の厳守事項』をご確認ください)

## ノンクロム・ゴウキン/共通項

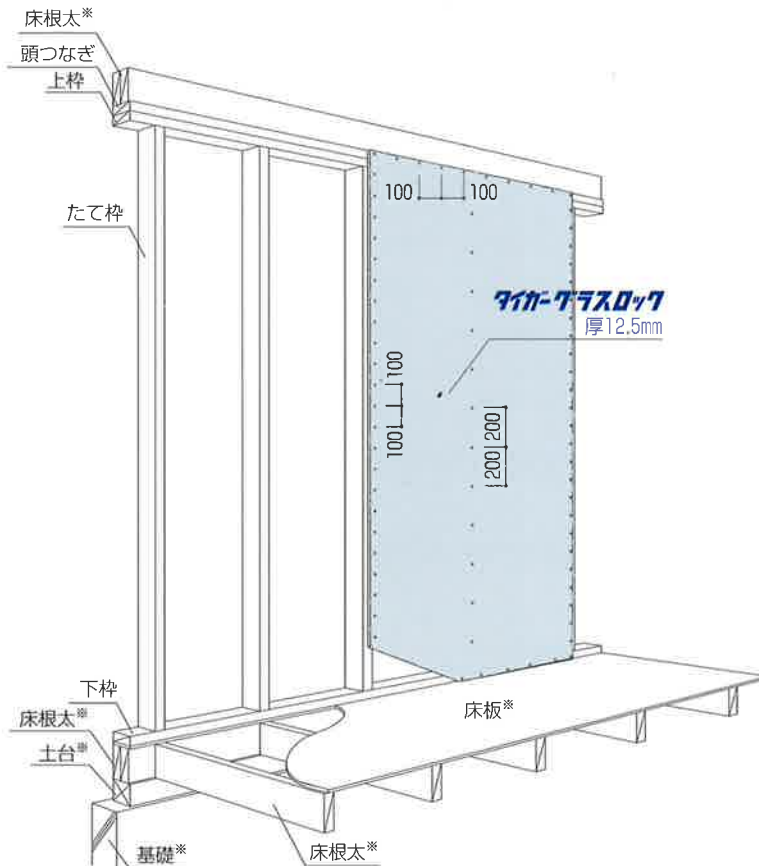


縦断面図

【たて枠配置】

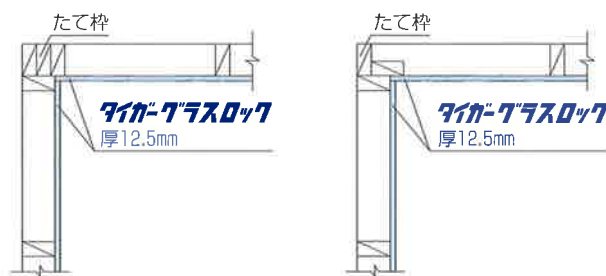


水平断面図



透視図

【標準的な入隅の仕様】



水平断面図

※ビス種類による〈タイガーガラスロック〉の幅サイズ対応について  
【ノンクロム・ビスの場合】→910mm幅のみ  
【ゴウキン・ビスの場合】→1,000mm幅(受注生産)対応可

※〈たて枠間隔〉について  
【ノンクロム・ビスの場合】→455mm以下  
【ゴウキン・ビスの場合】→500mm以内

※床板・床根太・土台・基礎は認定条件対象外です。

●タイガーガラスロックを壁高さ方向で継ぐ場合、継手部分に204材以上の受材を設ける。尚、面材をつなぐ場合の下側の面材長さは1820mmを用い、継手部分となる受材の取付位置は上枠と下枠間の一箇所とする。詳細は「標準施工指図書」をご覧ください。

1 ビス打ちに関する注意事項

**タイガーグラスロック(厚12.5mm)**はやや硬めの材料ですので、ビス打ち作業は、下記の要領に従って行ってください。

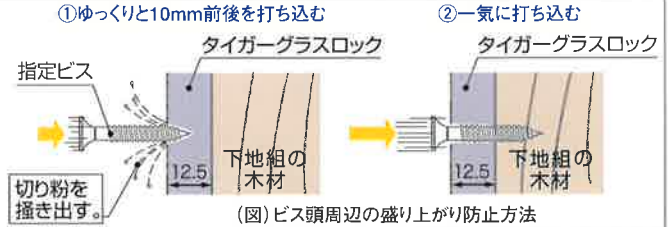
- ①専用の自動ビス打機耐力壁用は、圧縮空気(エア)で動作するマックス社製ターボドライバーTD-341G2、または同等性能品をお薦めします。
- ②圧縮空気(エア)を送るエアーコンプレッサーの能力は、1馬力以上が適しています。  
コンプレッサーからのエア取出圧力は、減圧弁により8.0~8.5kgf/cm<sup>2</sup>に設定してください。  
ビスを連続打ちすると、エア取出圧力が8.0kgf/cm<sup>2</sup>より下がる場合があります。この場合は、ビスの打ち込み不足(ビス頭がボード面より浮いた状態)が起き易くなりますので、エア取出圧力が回復するまで間をおいてからビス打ち作業を再開してください。  
○尚、自動ビス打機およびコンプレッサーの取扱いは、それぞれの製造元が発行する取扱説明書に従って使用してください。
- ③ビス打ち作業は、**両手で自動ビス打機を押さえ、先端部をボード面に強く押付けて**行ってください。(写真参照)  
ビス打ちを片手作業で行った場合や先端部の押付けが弱いと、打ち込み時の反動でビスの打ち込み不足が発生します。
- ④ビスが木材の節など固い部分に当たった場合も、ビスの打ち込み不足が起きます。ビスの打ち込み不足が起きた場合は、**インパクト電動ドライバー**により、ビス頭がボード表面と同じ位置になるまで**増締め**して打ち込んでください。  
また、下地となる木材は、スギ、マツ、ツガ材など、および枠組壁工法のSPF材などを対象としています。ケヤキ、カシ、ナラ材など硬い広葉樹の場合は、自動ビス打機ではビスを打ち込みません。この場合は、下穴をあけてからインパクト電動ドライバーによるビス打ちとなります。



※ビス打ちに関する注意事項の補足

インパクト電動ドライバーでのビス打ちの際に、ビス頭の周辺部分が盛り上がる場合があります。盛り上がり防止法として下記方法でのビス打ちを推奨します(右図参照)

- ①はじめは、タイガーグラスロックの切り粉を掻き出すように、ゆっくりと10mm前後を打ち込む。
- ②その後、力を入れて一気に打ち込む。



2 その他

- タイガーグラスロックをクロスまたはペイントで仕上げる場合の継目処理およびシーラー処理、その他詳細につきましては、当社カタログ「タイガーグラスロック」をご参照ください。
- タイガーグラスロックは**屋内用耐力面材**ですので、せつこうボードと同様に、屋外および常時水のかかる場所には使用できません。

認定上の厳守事項

- タイガーグラスロック耐力壁をご採用の際は、下記条件を全て厳守してください。これが守れない場合は、認定を受けた耐力性能が発揮されません。

木造軸組工法の場合…… **A B C E G**      枠組壁工法の場合…… **A B D F G**

〈各仕様に共通する主な認定条件〉

1 タイガーグラスロックを下地組に留め付ける方法

- A** ビス種類：  
商品名「PS4032Wノンクロム」(サイズ4.0φ×32mm)「マックス社製」  
商品名「PS4032Wゴウキン」(サイズ4.0φ×32mm)「マックス社製」
- B** ビスの留め付け間隔：  
面材周辺部**100mm以内**、中間部**200mm以内**
- C** ビスの留め付け位置：(木造軸組工法の場合)  
面材縁端部より**12mm以上**離れた位置
- D** ビスの留め付け位置：(枠組壁工法の場合)  
面材縁端部より**10mm以上**離れた位置

2 下地組材の断面寸法および間隔

- E** 下地組材寸法(木造軸組工法の場合)  
柱、梁、土台の断面寸法 105×105mm以上  
間柱の断面寸法 27×105mm以上  
面材の継ぎ手となる中間柱の断面寸法 45×105mm以上  
面材を留め付ける受材の断面寸法 30×45mm以上
- F** 下地組材寸法(枠組壁工法の場合)  
規格寸法 204材(38×89mm)以上
- G** 柱、間柱、中間柱、およびたて枠材の間隔：各仕様に準ずる

- タイガーグラスロック耐力壁の認定内容、施工方法の詳細に関しては、当社発行の「標準施工指導書」をご参照ください。
- タイガーグラスロックを用いた耐震リフォーム技術については、当社カタログ「耐震リフォーム専用技術 タイガーグラスロック耐震壁」をご覧ください。

- アスベストについて—現在、当社製品にはアスベストは一切使用しておりません。
- ホルムアルデヒドについて—当社のせつこうボード類は、ホルムアルデヒド発散建材を定める告示による規制対象外となっており、使用面積の制限はありません。
- クロルビリホスについて—当社製品は、クロルビリホスを一切使用しておりません。
- カビの発生について—せつこうボード類は施工当初、施工後にかかわらず、湿度が高くなった場合にはカビが発生する恐れがありますので、換気または除湿を十分に行い湿度を低く保つよう努めてください。
- 施工後の水漏れについて—漏水・雨漏り等が発生し、せつこうボード類が水に濡れて吸水した場合、ボードの剥落や落下の恐れがありますので張替えを必ず行ってください。
- 設計採用および施工を避ける部位について—常に湿気が著しい、結露が絶えない、漏水が発生する恐れがあるなどの過酷な条件の部屋(地下室、浴室、屋内プール、サウナ室など)の天井、壁への設計採用および施工は、吸水による強度低下が発生し、ボードの剥落や落下の恐れがありますので**避けてください**。

ISO 登録	ISO 9001	技術研究所 [工場] 東京・草加・千葉第一・千葉第二・千葉第三・三河・今治・北九州 北海道吉野・日東石膏ボード・小名浜吉野・新潟吉野・ジブテック(秋田・小名浜・高砂)
	ISO 14001	[工場] 三河・今治・北九州・日東石膏ボード

安全で快適な住空間を創る

**YOSHINO**  
吉野石膏株式会社

本社 〒100-0005  
東京都千代田区丸の内3-3-1 新東京ビル  
ホームページ(URL) <http://www.yoshino-gypsum.com/>

札幌支店 ☎011(221)6465	旭川営業所 ☎0166(47)3680	相模原営業所 ☎042(752)1951
仙台支店 022(262)4421	青森営業所 017(777)0261	静岡営業所 054(253)5101
新潟支店 025(245)7681	盛岡営業所 019(624)0877	堺営業所 072(232)0662
北関東支店 048(643)6151	郡山営業所 024(934)9310	神戸営業所 078(302)3062
東京支店 03(3216)1717	金沢営業所 076(233)5275	高松営業所 087(834)2001
横浜支店 045(651)3541	宇都宮営業所 028(643)6066	岡山営業所 086(226)4500
名古屋支店 052(223)2661	高崎営業所 027(321)6163	松江営業所 0852(37)1646
大阪支店 06(6449)1000	千葉営業所 043(246)7011	北九州営業所 093(521)5018
広島支店 082(248)0494	柏営業所 04(7144)1611	鹿児島営業所 099(225)1015
福岡支店 092(451)5315	立川営業所 042(528)0581	
セラミック営業部 03(3216)2670	長野営業所 026(228)3091	